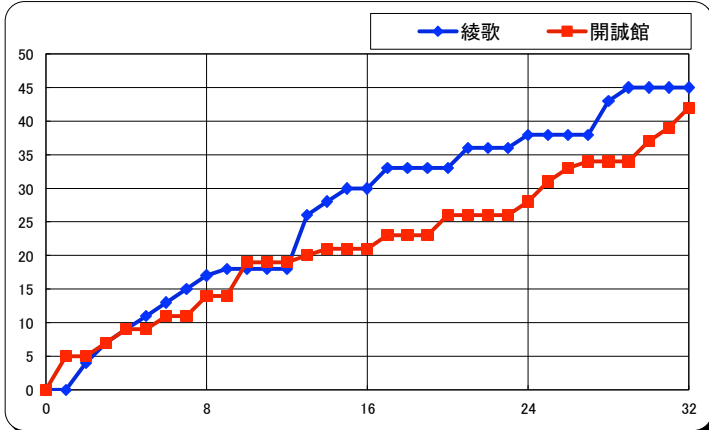




THE 44th ALL ALL JAPAN
Jr HIGH SCHOOL
BASKETBALL CHANPIONSHIP

【得点経過】



大会名	平成26年度全国中学校体育大会 第44回 全国中学校バスケットボール大会																
会場	高松市香川総合体育館																
日時	平成26年8月23日(土) 10:50																
コート	KBコート 第2試合																
カテゴリ	男 予選リーグH																
主審	豆塚 宣男 (熊本)																
副審	辻崎 紀晶 (福井)																
Team A		Team B															
綾歌	45	42															
香川	○	●															
	<table border="1"> <tr><td>17</td><td>1st</td><td>14</td></tr> <tr><td>13</td><td>2nd</td><td>7</td></tr> <tr><td>8</td><td>3rd</td><td>7</td></tr> <tr><td>7</td><td>4th</td><td>14</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	17	1st	14	13	2nd	7	8	3rd	7	7	4th	14		OT		開誠館
17	1st	14															
13	2nd	7															
8	3rd	7															
7	4th	14															
	OT																
		静岡															

【BOXスコア】

Team A		綾歌					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	田中 宗一郎	✓	0	0	0	0	5
5	高田 開	×	6	2	0	0	1
6	中村 碧生	×	11	0	5	1	3
7	小野 晴貴	×	5	1	1	0	4
8	松川 高輔	×	19	0	9	1	4
9	大高 立巳	DNP	0	0	0	0	0
10	山中 喬矢	DNP	0	0	0	0	0
11	村上 諒真	DNP	0	0	0	0	0
12	北本 愛貴	×	4	0	2	0	2
13	大林 輝生	DNP	0	0	0	0	0
14	林 優人	✓	0	0	0	0	1
15	岩田 憲伸	DNP	0	0	0	0	0
16	藤原 明統	DNP	0	0	0	0	0
17	久保田 光軌	DNP	0	0	0	0	0
18							
監督	北本 真司						0
コーチ	善生 昌弘						0
合	計		45	3	17	2	20

Team B		開誠館					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	山口 那生	×	5	0	1	3	5
5	鈴木 海生	DNP	0	0	0	0	0
6	小池 俊真	DNP	0	0	0	0	0
7	三室 礼揮	DNP	0	0	0	0	0
8	伴 拓実	×	9	2	1	1	3
9	田中 勇樹	×	9	2	1	1	1
10	渡邊 伽也	DNP	0	0	0	0	0
11	曾田 翔己	✓	0	0	0	0	0
12	佐原 和樹	×	8	0	4	0	0
13	菅沼 英一	✓	0	0	0	0	0
14	荒木 友介	DNP	0	0	0	0	0
15	松尾 智哉	DNP	0	0	0	0	0
16	鈴木 利尚	DNP	0	0	0	0	0
17	二村 遥	DNP	0	0	0	0	0
18	神田 誠仁	×	11	0	3	5	3
監督	尾藤 博己						0
コーチ	鈴木 信一						0
合	計		42	4	10	10	12

【戦評】

開催地代表綾歌と東海ブロック代表開誠館の一戦。綾歌はハーフコートのマッチアップゾーンDef、開誠館はマンツーマンDefでスタート。開誠館は#9の3Pと#12のジャンプシュートで得点する。一方、綾歌は#8が10点を入れ、1Q綾歌17-14開誠館で終了。2Q、開誠館は速攻から#18、#8の3Pで1点リードする。綾歌は4分49秒にタイムアウトを取り、その後、#6、#8、#12が連続得点し、流れをつかむ。開誠館は1-2-2のオールコートのゾーンプレスで仕掛けるが、綾歌は落ち着いてボールを運び、#8のジャンプシュートやリバウンドシュートで加点し、綾歌30-21開誠館で前半終了。

3Q、綾歌はパスミスが目立ち、苦しい時間が続く。一方、開誠館もシュートを打つも綾歌の堅いDefになかなか決めることができな。綾歌は残り1分で#5の3Pが決まり、綾歌38-28開誠館で3Q終了。4Qに入り、開誠館はDefでプレッシャーをかけ、#9の速攻、#18のジャンプシュートでじわじわと点差を縮める。綾歌は3分30秒間ノーゴールであったが、#7の3Pでようやく流れを食い止め、#6、#8がゴール下で連続得点した。開誠館はタイムアウトを取るも、思うように点差が詰まらず、二度目のタイムアウト。その後、#9の3Pで3点差まで追い上げる粘りを見せたが及ばず、45-42で綾歌が勝利した。最後まで気の抜けない好ゲームであった。

【戦評記入者】

川本 伸人